

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52303	保育の計画と評価 Curriculum and Evaluation of Childcare	太田美鈴	✓	専門	2	選択	1年後期

科目の概要

保育原理、乳児保育の科目での学修と関連づけながら保育の内容充実とは何であるかまた保育の計画と評価とは何であるかという問題意識をもって基本を正しく学ぶ。また子どもの姿のとらえ方や保育の見通しなどを様々な事例から保育者としてのどのように考えるかという応用的に考えることができるようにする。子どもの育ちの理解とともに保育者の適切なかわり方とはどのようなものか、何のために指導計画を立案するのかを理解し、評価の重要性や子ども姿との関係性についての全体構造をとらえることを修得する。幼稚園・保育所での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
カリキュラムの基礎理論を理解する 保育における計画と評価の意義を理解する 保育所保育指針等の内容を及び社会的背景を理解する 保育の計画について理解する 保育所における保育の評価について理解する	カリキュラムの基礎理論を述べることができる 保育における計画と評価の意義を述べるができる 保育所保育指針等の内容及び社会的背景を説明できる 保育の計画を作成するポイントを学び活用することができる 保育所における保育の評価について学び実施することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習・復習などには進んで取り組み自己課題をもって学修に取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	課題に応じた保育の計画を考えることができる。
考え抜く力	課題発見力	事例を読み解き、保育者としてどのように考えるのかを見つけることができる。
	計画力	
	創造力	豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を考える。
チームで働く力	発信力	立案した計画を分析し他者にわかりやすく説明できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で自分なりの意見、考えと比較し再構築できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、講義開始時間や課題提出期限を守り、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『保育カリキュラム論 計画と評価』建帛社、『保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント』ミネルヴァ書房
参考文献：教育課程・保育課程論基本保育シリーズ14、配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
保育者を目指す者として自覚をもち受講すること。 常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、保育観を構築できるように努めること。	テキストや指針・要領解説書を必ず持参のこと ・身近な乳幼児を意識し観察することで子ども理解を深め、指導計画作成に役立てる。 ・グループワークがあるときには事前に指導計画を考えておく。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験		①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	15	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムについての基礎理解ができているか評価する。5点 ・保育における計画と評価の意義を理解できているかを評価する。5点 ・こどもの理解に基づく保育の過程の循環による保育の質向上の意味を理解する。5点
				②	✓	
				③	✓	
				④		
				⑤	✓	
		レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画をデザインするために重要点が把握できている。5点 ・乳幼児の発達に合わせた計画を立案できる。(0,1歳・2歳・3歳・4歳・5歳各5点) 25点
				②		
				③		
				④	✓	
				⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	45	①		グループワーク 課題1 子どもの発達と計画の関係性 課題2 未満児保育で大切にすること 課題3 幼児の発達に合わせた保育の計画(3×5点) 保育課程・教育課程、年間指導計画、期間指導計画、月指導計画、週指導計画、日指導計画、部分指導計画、食育計画、長時間保育指導計画、連絡ノートそれぞれの持つ意味を理解する。(10×3点)		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 予習・復習などには進んで取り組み自己課題をもって学修に取り組む。 (実行力) 課題に応じて保育の計画を考えることができる。 (課題発見力) 事例を読み解き、保育者としてどのように考えるのかを見つけることができる。 (創造力) 豊かな発想をもち、子どもの発達、育ちの筋道を予測して実現性の高い指導計画を考える (発信力) 立案した計画を分析し他者にわかりやすく説明できる。 (傾聴力) 他者の話を聞く中で自分なりの意見、考えと比較し再構築できる (規律性) 無断欠席、講義開始時間や課題提出期限を守り、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価 割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保育の計画について理解し、子どもの姿を反映した独自性を持った指導計画の立案ができる。 提出物の期限を守り、子どもの発達を反映した指導計画の重要性が理解できる。 総合評価 90点以上 S(秀) 89点~80点A(優)	保育の計画についての理解しや子どもの姿を反映した、指導計画を立案できる。 課題提出ができ、子どもの発達を反映した指導計画の必要性が理解できる。 総合評価 79点~70点B(良) 69点~60点C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 保育の計画の基本と意義	講義 本日の学修について質疑応答をする。	授業の目的、授業内容、進め方、受講態度、評価方法についての説明を聞き理解する。保育の計画の基本と意義を知る。	(予習)テキストのはじめにを読んでおく。 (復習)保育の計画についてまとめておく。	90	課題発見力
2週 /	保育実践と計画の意義	講義 保育実践・計画の意義について質疑応答をする。	保育実践において計画を編成することの意義や活用の利点について学ぶ。	予習)テキスト9～18を読んでおく。 (復習)保育実践と計画の意義についてまとめる。	90 90	課題発見力
3週 /	保育実践と計画の位置づけと関係	講義 保育実践・計画の関係について質疑応答をする	保育の計画の種類や編成の流れや実践例を通して保育実践と保育計画との関係を理解する。	(予習)テキスト9～18を読んでおく。 (復習)保育実践と保育計画の位置づけをまとめる。	90 90	課題発見力
4週 /	保育所保育指針における「保育課程」の基礎理解	講義 演習(保育課程) 保育所保育指針と保育課程の関係について質疑応答する。	保育所では、保育所保育指針に挙げられた保育の目標を達成するために、「保育の計画」を作成する。それに基づき保育実践を行う全体的な「保育課程」について理解する。	(予習)保育所保育指針の総則を読んでおく。 (復習)保育所保育指針と保育課程についてまとめる。	90 90	課題発見力
5週 /	保育所保育指針における「指導計画」の基礎理解	講義 演習(年間指導計画) 演習について質疑応答する。	具体的な計画である「指導計画」について作成上のポイントや計画に対して基礎理解をし、指導計画を作成する。	(予習)指導計画の作成について予習しておく。 (復習)作成上のポイントをまとめる。	90 90	計画力 創造力
6週 /	幼稚園教育要領における「教育課程」と保育所保育指針との関連性を考える	講義 演習(教育課程) 演習について質疑応答する。	幼稚園教育要領における「教育課程」には保育を行うにあたっての保育の方向性が書かれている。その目的は、保育における意義とは何かを理解する。	(予習)幼稚園教育要領の教育課程の意義を読んでおく。 (復習)幼稚園教育要領と保育の計画について共通点をまとめる。	90 90	課題発見力
7週 /	幼稚園教育要領における「教育課程」と保育所保育指針との関連性を考える	講義 演習(保育課程) 演習について質疑応答する。	幼稚園教育要領における「教育課程」には保育を行うにあたっての保育の方向性が書かれている。その目的は、保育における意義とは何かを理解する。	(予習)幼稚園教育要領の教育課程の意義を読んでおく。 (復習)幼稚園教育要領と保育の計画について共通点をまとめる。	90 90	計画力 創造力
8週 /	乳児保育における「指導計画」の実践展開(1)	演習 演習(月指導計画) 演習について質疑応答する。	0・1・2歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。	(予習)乳児の発達の特徴を理解し指導計画を考えておく。 (復習)演習を再確認し、見直しデザインしなおす。	90 90	計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	乳児保育における「指導計画」の実践展開(2)	演習(連絡帳) 演習について質疑応答する。	0・1・2歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭との連携について学ぶ。	(予習)乳児の生活の流れを把握しておく。 (復習)家庭との連絡を見直し、再記入してみる。	90 90	計画力 創造力
10週 /	幼児保育における「指導計画」の実践展開(1)	講義 演習(週指導計画) 週指導案のポイントについて質疑応答する	3・4・5歳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、活動の意義を考える。	(予習)幼児の発達の特徴を理解しておく。 (復習)週指導計画のポイントをまとめ週指導計画を見直す。	90 90	計画力 創造力
11週 /	幼児保育における「指導計画」の実践展開(2)	演習(日指導計画案) 日指導計画のポイントについて質疑応答する。	3・4・5歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを学ぶ。また、家庭と地域との連携について学ぶ。	(予習)年齢による保育内容の編成を考える。 (復習)季節や時期、場所や人数による保育内容の編成をする。	90 90	計画力 創造力
12週 /	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(1)	演習(いろいろな計画を比較講義する) 本日のフィードバック、質疑応答をする	長時間・延長保育、預かり保育の場合の「指導計画」の工夫を実施状況や実施の留意点について学ぶ。	(予習)指導計画の多様性を調べておく。 (復習)指導計画の多様性についてまとめておく。	90 90	計画力 創造力
13週 /	さまざまな保育の「指導計画」と実践展開(2)	演習(いろいろな計画を比較討議する) 本日の学修について質疑応答する。	保幼小連携の場合の「指導計画」の工夫からカリキュラムづくりの意義や実践よりこれからの課題について考える。	(予習)保幼小連携とはどのようなことを考えておく。 (復習)保幼小連携とはどのようなことをまとめておく。	90 90	計画力 創造力
14週 /	記録・反省・評価から再立案へ(1)	講義 指導計画についての評価反省の考え方についてのプリントに記入。本日の学修の質疑応答する。	保育者が保育実践を記録することの意味や方法について学ぶ。	(予習)実習記録に目を通しておく 記録から反省を生かし評価し今後どうすべきかをまとめておく。 (復習)フィードバックのプリントをもとに理解を深める。	90 90	課題発見力
15週 /	記録・反省・評価から再立案へ(2)	講義 グループ討議後、質疑応答する。	指導計画を自分の保育に生かすためにはどのようにしたらよいか、また今後の課題について理解を深める。	(予習)実習記録をもとに自己課題を考える。 (復習)記録・反省・評価から再立案する。	90 90	課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力